

館報

おみ

8月号
No.677

2023. 8.25 (令和5年) 編集と発行 / 長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲四年ぶりのキャンプファイヤー～おみっこ元気くらぶキャンプ～（7月29日撮影）関連記事は3面

次代を担う麻績村の若者たち！



▲令和五年度 二十歳の集いに出席された皆さん

祝 令和五年度 二十歳の集い

- 赤津 勝志 (天王)
- 飯森 真菜 (山寺)
- 稲垣 サナ (天王)
- 臼井 紫音 (本町)
- 刈間 隆広 (坊平)
- 久保田 涼介 (市野川)
- 小山 大登 (天王)
- 小山由希子 (矢倉)
- 酒井 星七 (明治町)
- 酒井 蒼空 (明治町)
- 高野 紅葉 (本町)
- 滝澤 蓮 (下井堀)
- 玉井 琴乃香 (野口)
- 玉井 準也 (天王)
- 日詰 静利香 (梶浦)
- 平田 翔也 (丸山)
- 平田 大知 (明治町)
- 三浦 颯 (高)
- 宮川 真央 (坊平)
- 山口 泰志 (坊平)

(敬称略・五十音順・転出された方は転出前の地区名を記載)



▲力強い決意を述べる山口泰志さん

令和五年度麻績村二十歳の集いが八月十五日、麻績村地域交流センターで開催されました。

今年度の対象者は平成十五年四月二日から平成十六年四月一日までに生まれた二十名でした。

式典では塚原村長からお祝いの式辞があり、峯村議長からは祝辞が、平野麻績駐在所長からは講話がありました。それらに対して二十歳代表の山口泰志さんからは、責任ある社会人となる



▲祝賀会 旧友との再会に会話も弾む

ることを誓う内容の答辞がありました。
式典の後は、筑北村の西条温泉とくらに場所を移して、筑北村と合同で祝賀会を行いました。近年は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で制限を設けての開催でしたが、今年度は四年ぶりに飲食を伴う祝賀会形式での開催が実現し、懐かしい旧友や恩師も出席され、久し振りの再会に会話が弾んでいました。
二十歳を迎えられた皆さん、誠におめでとございます。また、実施に際しご協力いただきました関係者の皆さんに深く感謝申し上げます。



▲楽しい二日間になりました

おみっこ元気くらぶ
おみっこ元気くらぶ開催
七月二十九日、三十日に聖高原キャンプ場においておみっこ元気くらぶの『おみっこキャンプ』が行われ、四年ぶりに宿泊での実施となりました。今回は児童二十一名、保護者四名、信州大学YOU遊未来の学生等事務局十九名の、総勢四十四名の参加がありました。
大きな荷物を持って聖高原に集合し、学生の皆さんの考えた様々な企画を楽しみました。
夕食（ピラフ・ポトフ・スイカ）準備では、一・二年生が玉ねぎ、三～六年生

紙すき・
藍のたたき染めに挑戦
放課後児童クラブでは夏

がニンジン・ジャガイモの皮むきを担当しました。
聖高原博物館では見学した後、ボランティアの方と一緒に展示物の清掃に参加。また、普段乗ることのできないSLの運転席に乗せてもらい汽笛を鳴らす体験もさせていただきました。
湖畔公園での「逃走中」は、本物さながらのハンターから必死で逃げていました。雷の音が近づいてきたため、食事の前にキャンプファイヤーをすることになりました。大きな炎を囲んで、踊ったり歌ったりして楽しめました。夕食はみんなでおいしく楽しく、食べることができました。
二日目は、みんなでリフトに乗って展望台へ。景色を堪能してからスカイライダーで滑り降りました。その後、宝探しとクイズを楽しみました。日常では経験できない一泊二日となりました。



▲どんな紙ができあがるかな？

休み中に、紙すき・藍のたたき染めを行いました。
紙すきの原料は、飲料の紙パックをふやかしてからミキサー等で繊維を細かくし、水と糊を混ぜたものを色付けして作ります。自分の好みの色になるように調整を繰り返し、楽しみながら製作しました。
たたき染めは、生地に藍の葉を並べて、葉脈や葉の色素を移します。葉を固定して丁寧なたたくほどはつきりした形が出るので根気よく頑張りました。今年は綿の中着袋に染めました。今回製作した作品は、文化祭で展示する予定です。



この夏、我が家に猫がやってきた。生後数カ月の子猫。愛くるしい瞳に、すでに心癒やされている。

でもなぜ？

東京農業大学の内山秀行准教授は、動物行動学の観点から、人が猫をなでたりすると、体が安らぐホルモンが分泌され、人のストレスホルモンを減らすという。また、猫の気まぐれな行動は、人の脳を活性化させる働きがあるとか。アニマルセラピーの効果は、学術的にも立証されてきているが、他の動物と同様、猫は人を幸せにすることは間違いない。
とはいえ、猫をパートナーにするのは初めて。日々のお世話はもちろん、予防接種や動物病院、保険等。かかるものばかりだが、張り合いと癒やしはある。隙をみていたずらする猫に翻弄されつつも、家族の笑顔が増えたことがうれしい。

明治町祭典 聖太鼓が響く

七月二十九日に明治町祭典が開催されました。令和二年から神事のみで実施していましたが、今年は聖太鼓や子ども神輿が復活し、多くの方を楽しませていました。



▲力強い聖太鼓の音色が響く

四年ぶりの開催 サマーナイト フェスティバル

八月五日麻績村役場前駐車場において、第三十四回サマーナイトフェスティバル

ルが開催されました。コロナ禍で四年ぶりの開催ということもあり、当日は多くの方が来場されました。

開始時は夏空に恵まれ、大変暑くなりましたが、途中局地的な豪雨に見舞われ一部プログラムを変更しての実施となりました。参加された皆さんは麻績村の夏の風物詩の再開を心待ちにしていたようで、小雨が降る後半も多くの皆さんが露店やステージを楽しんでいました。麻績小学校、筑北中学校の児童、生徒も参加し久しぶりに大勢の前で日頃の練習の成果を発表する機会となりました。

今年度多くのイベントが復活する予定ですが、コロナ



▲筑北中学校吹奏楽部による演奏



▲長瀬剛完全コピーライブ英二さん

ナ前の賑わいに戻すための工夫や開催方法の見直しなど、運営において様々な工夫をしながら進め、地域コミュニティの再始動と更なる活性化に向けて取り組んでいます。

第五十九回 聖高原納涼煙火大会

八月十四日に第五十九回聖高原納涼煙火大会が開催されました。台風が近づき天候が心配されましたが、無事に打ち上げることができました。

昨年同様当日は、多くの方で賑わい、夜空を彩る花火に拍手や歓声などが聞こえていました。

来年は第六十回の節目となる煙火大会ですが、今か

ら開催が待ち遠しいです。

スティナ先生退任 ありがとうございます

ございました

令和四年からALTとして筑北中学校、麻績小学校に勤務いただいたスティナ・トロールベック先生が任期を終え退任いたしました。

短い間でしたが、小学校での音楽祭では児童とともに聖太鼓を演奏したり、中学校では生徒と聖山登山したりするなど外国語の指導以外でも熱心に係わっていただきました。

先生からは、「短い間でしたが自然豊かなこの麻績村で過ごすことが出来てとても嬉しかったです。そし



▲夜空を彩る大輪の花火

て、地域の人々もとても優しくかったです。ありがとうございますございました」と感謝の言葉がありました。

なおスティナ先生には今後麻績村の魅力を発信していただき、麻績の児童生徒との交流など外国文化の交流事業への協力をお願いしていくこととしており、「おみふるさと大使」として委嘱されました。



▲委嘱状が手渡されるスティナ先生

麻績小学校

五年生 海の学習

六月二十六、二十七日、五年生は海の学習で日間賀島に行きました。山に囲まれた麻績とはまた違った魅力が、海に囲まれた日間賀島にはたくさんありました。子どもたちも五感を使って、海の生活を楽しんでいました。学校に戻り、海の学習の報告会のプレゼン資料を一人ずつ作り始めました。

元気通信!!

～今月の小・中学校～

子どもたちが作った資料を見て、担任の私はかなり驚きました。二日間を集団で生活する大変さを実感し、人と過ごす中で何が大切なのかを考へる子、美しい海辺にたくさんのごみが捨てられていたのを見て、長野県に住む私たちに出来ることは何か

を考へる子…。ただ無邪気に遊んでいるように見えた子どもたちですが、多くの経験を通して彼らなりに考へ、それを学びに繋げていたことに感動しました。二日間で、子どもたちは大きく逞しく成長しました。かけがえのない二日間になったと感じます。たくさん学びを、様々な場面で生かしていけると今回の子どもたちを見て確信しました。



▲報告会の資料作り



▲貴重な体験ができました

筑北中学校

筑北中学校では、次の通り筑北祭を開催します。今回は村民の皆さまにも是非ご参加いただきたく、次回のご案内します。

第六十六回 筑北祭

～新しい時代を切り拓け～

九月二十九日(金)
午後一時～午後三時四十分
九月三十日(土)
午前八時四十分～午後三時五十分

* * *

①運動会(※雨天時 体育館)
九月二十九日(金)
午後一時四十分～午後三時一〇分

内容・準備体操
委員会対抗種目：リレー
(小学六年生参加)・玉入れ
させない(地域の方々も参加OK)

・学年対抗種目：台風の日
大縄跳び

※参加していただける方は、会場にお越しください。

②ふるさとディスカッション
九月三十日(土)

午前一〇時四十分～十一時
場所：筑北中学校ランチルーム

テーマ：ふるさとの魅力と未来

内容：ふるさと麻績村について、保護者や地域の方と一緒にテーマについて意見交換をします。
※各学年の発表(九時二〇分～一〇時三〇分)からお聞きいただけるとありがたいです。

③筑中有名人
九月三十日(土)
午後一時～午後二時三〇分

場所：筑北中学校体育館
内容：ダンスや歌、特技を発表します。地域の参加者大募集。募集期間：八月二十八日(月)～九月八日(金)

※筑北中学校(☎六七二二〇三二)にお問い合わせください。

新任ALIT ソフィー先生紹介

私の名前はソフィーで、イギリスのロンドン出身です。ロンドンには人口約九百六十万人のとても大きな都

市です。二〇一六年から二〇一八年の間、福岡県と千葉県に住んでいました。

イギリスのコーンウォールにあるファルマス大学を卒業し、そこで、テキスタイルデザインと刺繍を学びました。日本語はあまり上手ではありませんが、頑張ってたくさん勉強しようと思います。

日本の文化や芸術、デザイン、特に伝統的な織物が好きです。趣味は絵を描くこと、刺繍をすることです。まだ行ったことのない日本の皆さんの場所に旅行できることも楽しみです。

ここにいられてとても感謝していますし、幸せです。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。ぜひ気軽に話しかけてください。どうぞよろしくお願い致します。



▲ソフィー・コロン先生

オンドルの館

(No. 1)

野口遺跡の編年

はじめに

平成五（一九九三）年三月二十五日長野自動車道豊科更埴間が全線開通し、麻績インターが利用開始され今年三十年を迎えた。

村内の長野自動車道工事は、昭和五十九（一九八四）年二月に着工した。工事に伴い、埋蔵文化財発掘調査が昭和六十二（一九八七）年に、古司沖・子尾入・野口地区で実施された。前者二地区は不発に終わった。野口地区は、同年三月に確認調査、七月八日から（財）長野埋蔵文化財センター長野調査事務所研究員八名で開始され、三ヵ月あまり行われた。

麻績村ではかつてない大規模な発掘調査で、全国的にも稀な成果であった。経過については、センター調査速報・館報おみ・農協広報ちくほく・信濃毎日新聞で報道された。

古墳時代前期四〇〇年、

古東山道の支道が筑北の谷を通り、幾内の先進文化や渡来系氏族の外來文化を麻績盆地にもたらした。

四五〇年、朝鮮半島からの渡来人の墓と推測される積石塚古墳が安坂につくられる。

六世紀砂原に後期古墳がつくられる。

大化二（六四六）年大化の改新に際して薄葬令が発布され、墳墓の造営が規制される。

飛鳥時代の大宝元（七〇一）年、令制東山道が整備され、麻績駅を経て越の国に至る東山道支道がつくられる。

平安時代延暦十六（七九七）年、信濃の前部の綱麻呂安坂姓を賜る。この安坂氏は古墳に葬られた首長の末裔と推考される。

天曆四（九五〇）年頃（平安時代中期～末期）安坂氏にかかわる渡来系氏族と考えられる住民が、オン

ドルを備えた竪穴式住居を野口に建てる。

発掘調査区について

野口区の東西を四阿屋山麓の尾根にはさまれ、北にひらかれた標高六五〇メートル位を中心に、尾根の東地区・西地区と呼び分けて実施された。

西地区には「泰殿屋敷」という四七五〇坪ほどの地名がある。青柳城の門番の屋敷で「その館の主人は「おたえさん」という女性だった」ことや、「伊勢神宮の御師の屋敷だった」という伝承がある。十四箇所試掘したが、屋敷跡は見つからなかった。

発掘された遺構と遺物について

時代は縄文後期（紀元前二〇〇〇年）から平安・中世に及んでいた。筑北では初めての平安時代の竪穴式住居跡二軒、土墳墓・鍛冶跡各一箇所、フイゴ羽口、土師器、須恵器、灰釉陶器、青磁等が出土した。

灰釉陶器は、美濃国（岐阜県南部）で作られたもので、伊勢神宮まで貢物を運んだ帰りに買い求めたみやげとも推測されている。青磁は鉄分を含んだ青緑色または淡黄色のうわぐすりをかけて

高い温度で焼いた磁器である。中国の唐時代（一三九〇～一一二〇年前）に始まり、宗王朝に受けつがれ諸国に輸出された。この周辺の遺跡発掘であまり見かけないものという。野口遺跡には高貴な民が住んでいたとも想像される。

鍋山气象台

鍋山は、青柳城跡の東、四阿屋山中腹西側にある。北から見ると鍋をひっくり返したような山である。「鍋山に雲がかかると天気



▶上井堀地区から野口・鍋山を望む
(写真中央が鍋山)

う。風雨が強まると発掘調査は中止となる。調査員は「鍋山气象台」と名付けていた。観測結果は七〇パーセントの確率だったという。今の気象予報士の天気予報の確率は何パーセントであろうか。

次月号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸

本の森だより

おみ図書館

夏休み恒例 ブックサロン開催

漫画を取り上げたブックサロン「推し漫画を語る会」を開催しました。当館としては初登場のテーマです。

ひと口に漫画と言っても少年・少女漫画や青年漫画と言われるものがあり、その上ジャンルも幅広く、この「語る会」がどのような展開になるか予想のつかないところもありましたが、まずそれぞれの「推し本」を紹介していただきました。



▲漫画遍歴も紹介しながら、なつかしい書名が次々と……

みなさんが語る「推し」には限りない愛情がこもっています。語らずにはいられない気持ちがあふれ出て、熱気を帯びたサロンとなりました。

語り尽くせないものを残しながらではありますが、最後に「最も読みたいと思った本」に指差し投票をした結果、魚豊著「チ。」が選ばれました。



▲KADOKAWA

これは十五世紀のヨーロッパを舞台に地動説をめぐる迫害と抵抗を描いた骨太な作品で、アニメ化も決定しています。

《紹介された本の一部》
「ダンジョン飯」

九井子 著・KADOKAWA

「捨てられた皇妃」

Yuna 著・KADOKAWA

「ポーの一族」

萩尾望都 著・小学館

「コタローは一人暮らし」

津村マミ 著・小学館

「紅い花」

つげ義春 著・青林堂

おみ図書館所蔵

新着コミックエッセイ

『泣きたい夜の甘味処』

中山有香里 著



▲KADOKAWA

とある町に、ひっそりとたたずむ一軒の甘味処。熊と鮭が営むこのお店は、夜だけしか営業していません。提供するの温かいお茶と、甘いもの一品だけ。今夜も、疲れて泣きたい人々がこの店に迷い込みます。店主がなぜ熊と鮭？ 読者も提供される登場人物もなぜ？ と思いつつも、「まあいいか」と癒しどころ満載のコミックエッセイです。

レシピも紹介されていて、きつと作ってみたいくらいです。

『火葬場で働く僕の日常
最期の火を灯す者』

下駄 華緒 原案
蓮古田二郎 漫画



▲竹書房

自分の肉体が最期を迎える場のことを、考えたことはありますか？

関西と関東では異なるお骨上げの風習や、コロナ禍の厳しい制限下での火葬のこと。死因によって配慮が必要なこと、火葬場の燃料のことなど……。必ずお世話になる場所でありながら、知らないことだらけの火葬場の日常を、わかりやすく率直に描いています。

お仕事漫画としても読むことができる本書で、ちょっとだけ涼しくなりながら火葬場を知ってみませんか。

『「神様」のいる家で育ちました 宗教二世な私たち』
菊池真理子 著



▲文藝春秋

昨年の安倍元首相の殺害事件からにわかに注目されている宗教二世問題。事件以前に企画された本書のあとがきで著者は、急性に耳目を集めることになった戸惑いを語っています。

宗教二世はあの日から突然現れたのではなく、以前から宗教が生まれた時からある問題なのかもしれません。

デリケートで難しい点を多く持つ事柄ですが、家族や信じるものを選び取る権利について考えるきっかけを与えてくれる一冊です。

みんなで そだてる 8月のおみ図書館

7月貸し出し数	
貸出冊数一般	871冊
貸出冊数児童	1071冊
来館者数一般	520人
来館者数児童	785人



スマホ講座開催のお知らせ

総務省の利用者向けデジタル活用支援推進事業を活用して、今年度スマホ講座を開催します。

この事業は、麻績村・筑北村・麻績村商工会・筑北村商工会の四事業体で連携して実施するものです。

麻績村においては、六回予定しており、日程と内容については次の通りです。

● 第一回

九月二十一日(木)

カメラと写真の活用

● 第二回

十月五日(木)

インターネットと地図の活用

● 第三回

十一月九日(木)

SNS(LINE)の基本と応用利用

● 第四回

十一月十六日(木)

マイナポータルで自分のマイナ情報を確認

● 第五回

十一月三十日(木)

マイナ保険証で通院記録、投薬記録を確認

● 第六回

十二月七日(木)

よろず相談会

会場は麻績村地域交流センターでいずれの回も午後一時三〇分から一時間程度の開催となります。定員は各回十二名程度とさせていただきます。

詳細につきましては、先に新聞折り込みさせていただいたチラシをご覧ください。

お申込み、お問い合わせにつきましては麻績村公民館(☎六七二二四〇)までご連絡ください。

団体別リレー

参加チーム募集

十月二十二日(日)に開催する村民運動会において、

団体別リレーに出場していただけるチームを募集します。

障害物競走をしながら、個性豊かな皆さんのコスチューム、ユニークさなどをアピールして盛り上げていただける方々をお待ちしております。

麻績村に住んでいる方(各分館でのご参加もOKです)、村内に勤務されている方で五人一組のチームを組んで、麻績村公民館(☎六七二二四〇)までご連絡ください。

麻績村文化祭 参加者募集

令和五年度麻績村文化祭を十一月三日(金)、四日(土)の二日間で開催します。

今年度は、コロナ禍で中止していた芸能発表会を実施する予定としています。現在、芸能発表会に参加いただける方や、文化祭への作品展示にご協力いただける方を募集しています。

詳細につきましては、麻績村公民館(☎六七二二四〇)までご連絡ください。

**麻績かるたより
「麻績村トリビア」**

① 芦澤の
堰堤づくり
知恵の跡



根尾地区芦澤の砂防えん提は明治二十(一八八七)年に作られた物で、四ヶ所あります。現在でも土砂流出を防いでいて、国の有形文化財に登録されていると、とても貴重な物です。

一つの石を六個の石で取り囲む「六つ巻」という工法で石が積まれていて、全方向からの力を受け止めることができます。ちよつと八手の巣を連想しますね。遊歩道も整備されているので、見学に行ってみてください。

編集後記

新潟県で水不足のニュースが連日放送されています。ダム貯水率が0パーセントの状態が続いているところもあり、深刻な事態となっています。水は生活にはもちろん農業などにも欠かせないので、多くの人が雨を望んでいると思います。災害にならない程度の雨を願うばかりです。

村のめぐしち

お誕生おめでとう



塚原聖子ちゃん
英明・愛
(宮本)

ご冥福を祈る

飯森 好子 92歳	丸山
渡邊 昭美 93歳	下井堀
宮下 和子 89歳	叶里